

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施 策	11 子育て支援 ー子育てする喜びであふれる笑顔を増やしますー		
重点プロジェクト		子育てするならふじみ野市・こどもの未来を育むプロジェクト		
総合戦略		出産や子育てのしやすいまちを創出する		
		安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する		
主 管 課	こども・元気健康部 子育て支援課	評価責任者	増村 規子	
		評価日	令和7年6月2日	
関 連 課		障がい福祉課、保育課、こども家庭センター、保健センター、学校教育課、社会教育課		
目 標		安心して子育てができ、子どもと共に成長する喜びを感じられるよう、子どもに関わる総合的な支援体制の充実や子育てに有効な様々なサービスを展開し、「親育ち・子育て」を応援します。		
施策目標の実現 に向けた取組		(1) 子どもや子育て家庭への支援の充実 ○妊娠期から子育て期にわたるまでのサービスの充実と更なる質の向上に努めます。 ○子どもの健やかな成長を支援するため、仲間との遊びや交流・学習機会を通じて豊かな心を育む居場所づくりの拠点として、児童センターや放課後児童クラブの充実を図ります。 (2) 地域で支え合う子育て支援体制の構築 ○地域で子育てを応援する機運の醸成と子育て支援ネットワークの強化を図ります。 ○地域における様々な子育て関連団体の活動を通じて、青少年健全育成を推進します。 ○各関係機関や地域と一体となって、児童虐待の早期発見、早期支援に努めます。 (3) 発育・発達支援体制の拡充 ○発育・発達に不安のある児童の早期発見、早期療育が重要であるため、児童発育・発達支援センターを中心とした関係機関との協働的支援及び地域コーディネートを行い、支援が必要な児童への切れ目のない支援の拡充に努めます。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	子育てコンシェルジュ事業の利用者満足度【総合戦略】							
		説明	子育てに関する相談、情報提供、交流・学習事業の開催及び市民への対応等が利用者の不安軽減に繋がりが満足した割合を捉えることにより、子育てにおける相談調整体制の確立を推進する指標とする。							
		単位	%							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	98.00	98.00	98.00	98.00	98.00	98.00	98.00	
		実績値	97.00							
	指標2	指標名	放課後児童クラブの待機児童数※減少を目指す指標【総合戦略】							
		説明	保護者の就労等の事由により入室申請したにもかかわらず入室できなかった児童数。少ないほど放課後児童クラブが充実していることを示す指標である。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	0	0	0	0	0	0	0	
		実績値	0							
	指標3	指標名	要保護児童等のリスク軽減数（累計）【総合戦略】							
		説明	要保護児童対策地域協議会において、ケースランク（安全確認頻度）を軽減した数。児童虐待への対応を図る指標となるため（目標値は令和6年度から令和12年度における累計値。）※転出終結及び年度内再転入除く。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	40	80	120	160	200	240	280	
		実績値	47							
	指標4	指標名	児童発育・発達支援センター相談事業の利用者実人数【総合戦略】							
		説明	発達総合相談支援における相談専門職が対応する相談件数を把握することにより、本市における発育発達に係る実態、基幹的相談機能の需要度の把握及び早期支援体制構築の活動指標とする。							
		単位	人							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	950	950	900	900	900	850	850	
		実績値	1,505							
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	3,610,081	0	0	0	0	0	0
	人件費	262,155	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	2,373,677	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,498,559	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	子育て支援センターにおけるサービスの充実と質の向上	子育てコンシェルジュ事業の利用者満足度は、97%となった。妊娠期から子育て期の親子が安心して過ごせる場所となっている。総利用者数は令和5年度11,353人から14,280人へ増加した。	子育て支援センター管理運営事業
取組②	子どもの豊かな心を育む居場所づくり	指定管理者による放課後児童クラブの運営について、モニタリングによる管理及び指導を実施するとともに、家庭や地域等との連携の下、遊びや学びを通して基本的な生活習慣の確立及び健全な育成に努めた。また、小学校の統合に対応して第4東原放課後児童クラブを設置した。	放課後児童クラブ管理運営事業
取組③	【総合戦略】要保護児童及び家庭に対する支援の強化	要保護児童対策地域協議会代表者会議・実務者会議、個別ケース検討会議に加え、事務局内で処遇検討会議を開催し、要保護児童及び家庭について審議し、支援方針に沿った支援の実施、関係機関との情報共有を行い、虐待の未然防止及び早期発見、介入を図った。	児童福祉支援事業
取組④	青少年健全育成の推進	家庭・学校・地域が連携し、青少年が健全な身体と豊かな心を持ち、健やかに成長することを願い、青少年健全育成に関する市内52団体からなる市民会議において少年の主張や講演会を実施するとともに、青少年指導員による非行防止パトロールや地域事業を各地域で実施した。	子ども・子育て支援対策事業
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	核家族化及び少子高齢化という時代の趨勢に伴い、近年、子育て環境の変化がもたらす子育て世代への影響は、国全体として社会問題化しており、本市においても取り組むべき大きな課題となっている。主に育児の担い手である「母親の孤立化」による様々な問題が引き起こされていることを踏まえ、その子育てしづらい環境の世帯に対し、積極的に寄り添い、支援を行うことにより、『子育ては大変なことばかりではなく喜びも感じることもできるやりのあるもの』という思いを享受し、笑顔を増やすことができるよう支援するものである。具体的には、各子育て支援拠点の充実により身近な地域での拠り所を整備するとともに、令和6年度のこども家庭センターの設置に伴い、母子保健と児童福祉の両機能の一体的な相談支援体制を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない「寄り添い型」の支援を展開している。児童発達・発達支援センターは、令和4年度から公設化し、相談部門を中核施設としての役割りや基幹的機能強化を図るため、市直営とし、療育部門は、安定的な運営を実現するため令和5年度から3年間の複数年委託契約を行い、切れ目のない相談支援・適切な発達支援の提供を行っている。また、令和7年度～11年度までの5年間の計画となる「こども計画」を、庁内及び外部会議の実施に加え、こども・若者への意見聴取や、小中学生を対象としたパブリック・コメントを実施し、こども計画の当事者の意見を踏まえた策定を行った。
順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
大きな効果が得られている	